

令和元年度 学校評価 自己評価表（最終評価）

令和2年3月16日現在

安芸太田町立加計中学校

学校教育目標		高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成		めざす生徒像	・互いのよさや違いを認め合い、共に伸びる生徒 ・人のためになる行動ができる生徒 ・学びを生かし、他者と協力し、目標に向かって挑戦し続ける生徒							
営 目 標	中期 経 営 目 標	目標達成のための具体的方策	評価指標	目標値	中間 達成値	達成度	中間 評価	最終達成 値	達成度	最終 評価	○成果 ●課題	委員 評価
広い視野を持つために	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 基礎学力の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣（起床・就寝、学習開始時刻：3点固定）の確立（スクールライフの活用・教育相談学習カウンセリング） 家庭学習の習慣化と自主学習ノート（継続ノート）の内容充実（学習時間週10時間以上、毎日30分以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 3点固定ができている生徒の割合（75%） 	75	60.7%	80.9%	3	71.0%	94.7%	3	<ul style="list-style-type: none"> ●3点固定ができている生徒の割合は、3学期末調査で71.0%。項目別にみると家庭学習を始める時刻を決めている生徒は77.0%と低いが、起床時刻と就寝時刻を決めている生徒の割合は90%以上である。就寝時刻が遅い生徒がいるので、今後も家庭への働きかけを継続していく。 	○
		<ul style="list-style-type: none"> 継続ノート・スクールライフ提出率（80%） 	80	83.6%	104.5%	—		—	<ul style="list-style-type: none"> ○学級の毎日の取組により継続ノート、スクールライフの提出率80%以上達成している。 ●学習時間30分以上の生徒は1学期同様90%以上。30分未満の生徒5名（1,3年2名、2年1名）が固定されている。○週10時間以上は39%である。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 数学の学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 「標準学力調査」の分析による個人内経年変化の向上（80%） 	—	—	59.9%		74.9%	<ul style="list-style-type: none"> ●「朝数学」の時間を設定したが、個人によって取組の差ができた。来年度は時程に「朝数学」の時間を組み込み、短期間の目標の設定及び点検ができるようにしていく。 ●標準学力調査の正答率が昨年度より向上した生徒は教科によって差はあるが、5教科の平均では2年生が48.0%、3年生が71.7%であった。 			
「主体的・対話的で深い学び」実践 多様な価値観の受容	<ul style="list-style-type: none"> 協調学習による「主体的・対話的で深い学び」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 協調学習の実践（各教諭～学期に1回・年3回の実践） 	<ul style="list-style-type: none"> 「資質・能力」の自己評価の肯定的割合（80%） 	80	63.6%	89.5%	4	72.7%	90.8%	4	<ul style="list-style-type: none"> ○11名の教諭のうち8名が協調学習を3回以上実施した。 ●新しく着任した教員への働きかけが不十分だった。 	○
	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における「資質・能力」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 「資質・能力」の自己評価の肯定的割合（80%） 	—	—	—	—		<ul style="list-style-type: none"> ○加計中で身に付けたい6つの「資質・能力」を意識していることがわかる。縦割りグループでの文化祭への取組を通して「高い志」、「コミュニケーション能力」、「自らへの自信」が特に伸びたと実感している。 				
	<ul style="list-style-type: none"> 異文化間協働活動を取り入れた総合的な学習の時間の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践による生徒の変容に関する生徒アンケート調査等の肯定的割合（80%） 	100%	125.0%	100%	125.0%		<ul style="list-style-type: none"> ○3年生でJICA中国への訪問、平和公園でのインタビュー活動、ハワイ留学生との交流会、ALTの送別会など異文化間協働活動を計画的に行なっている。異文化理解への意欲が高まりつつある。 				
地域に貢献するために	<ul style="list-style-type: none"> 小中高12年間の連携教育 ボランティア活動の実践 防災教育による地域連携 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校との交流活動・連携（協調学習、学校行事、生徒指導等） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感の向上（80%） 	80	91.5%	114.3%	4	91.5%	114.3%	4	<ul style="list-style-type: none"> ○小学6年生の一日体験学習では加計中6訓を分かりやすく教えたり、交流授業、部活動体験等で連携、交流を図ることが出来た。週1回の小中生指導主事の連携の他、授業参観等で児童の実態把握を進めている。 	○
		<ul style="list-style-type: none"> 加計高校との連携型中高一貫教育（合同学校行事、進路指導、キャリア教育等） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感の向上（80%） 	91.3%	114.1%	91.3%		114.1%	<ul style="list-style-type: none"> ○近年、加計高校の先生に直接面接指導をしていただいている。このことが進路に向けて意識化させることに繋がっている。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携によるボランティア活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感の向上（80%） 	78.3%	97.8%	78/3%		97.8%	<ul style="list-style-type: none"> ○しわいマラソンやトイレ掃除のボランティア活動に積極的に参加することができた。地域の方の温かみやボランティアに取り組む姿勢を身近で感じ、さらに熱心に取り組みたいという意欲の向上にもつながった。 			
主体的に生きる生徒の育成のために	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的活動の充実 学校行事、生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「加計中六訓」と「ノーチャイム行動」の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ノーチャイム行動の自己評価達成度の割合（80%） 	80	86.9%	108.6%	4	—	—	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーチャイム行動は全ての生徒に浸透した状態で時計を見て行動できている。学級委員が3分前学習を呼びかけ全ての教科で取組を進めている。 	○
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の3機能を活かした行事や体験活動の充実（運動会・文化祭・生徒会活動への取組） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や体験活動後の生徒アンケートの満足度や達成度等の割合（80%） 	93.4%	116.8%	93.4%		116.8%	<ul style="list-style-type: none"> ○文化祭、体育祭を縦割り集団で取り組むことで3年生がリーダーシップをとり、達成感をもつことができた。文化祭では創意工夫し、新しい取組をステージ発表することで自己存在感や共感的人間関係を深めることができた。 			
		<ul style="list-style-type: none"> 無言掃除への取組 	<ul style="list-style-type: none"> 無言掃除の充実感（80%） 	93.5%	116.9%	—		—	<ul style="list-style-type: none"> ○掃除時間前に集合し、環境委員会がワンポイントアドバイスをしている。汚れに気づき自ら意識して掃除する生徒もいるが、レベルアップを目指したい。 			
体力づくり・食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくり 食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくりのための工夫（体育的行事・部活動内容と体力づくり） 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テスト（持久力・柔軟性）の結果の向上（昨年度を上回る） 	昨年度 66.7%	60.4%	90.5%	3	60.4%	90.5%	3	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度体力テスト平均数値達成が全体の66.7%の種目だったが、今年度は60.4%にとどまっている。 ●持久力に課題があるが、個人の体力差が大きくなっている。 	○
		<ul style="list-style-type: none"> バランスのとれた好き嫌いのない食事の摂取（給食指導） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食での完食率（残菜等の状況）（80%） 	80	80.3%	100.3%		82.0%	102.5%		<ul style="list-style-type: none"> ○温かい給食を会話も楽しみながら感謝していただいている姿がみられる。 ○給食を残さずに食べている生徒の割合は82.0%である。 	
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> 水曜日は部活休養日と定時退校日 勤務時間管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の削減（前年度の時間外勤務を下回る） 月80時間を越える教員0を目指す。 	80	75.0%	93.8%	4	81.8%	102.3%	4	<ul style="list-style-type: none"> ○2月までの11か月間のうち、7、8月を除き昨年度を下回った。 ●80時間を越えた者は5、9、10月が各1人、11月が2人であった。 	○

※達成度(%)=達成値÷目標値×100 ※評価 4:100%以上(目標以上達成できている) 3:80%以上(目標を達成できている) 2:60%以上(目標をやや達成できていない) 1:60%未満(目標を達成できていない)